

名画の殿堂

藤田美術館展

— 傳三郎のまなざし —

A Long View:
Masters of Painting from the Fujita Museum

令和3年(2021)

令和4年(2022)

12.10(金) — 1.23(日)

休館日

月曜日及び年末年始(12月28日(火)～1月1日(土)、
1月11日(火)) ※ただし、1月10日(月・祝)は開館

開館時間

9時30分～17時(入場は閉館の30分前まで)

会場

奈良国立博物館 西新館

主催

奈良国立博物館、朝日新聞社、NHK奈良放送局、
NHKエンタープライズ近畿

特別協力

藤田美術館

協賛

ライファートブックス

協力

大阪市高速電気軌道、日本香堂、仏教美術協会



奈良国立博物館

NARA NATIONAL MUSEUM

〒630-8213 奈良市登大路町50番地(奈良公園内)

大獅子図 竹内栖鳳筆 明治時代





同宝 玄奘三蔵絵巻第四(部分) 高階隆兼筆 鎌倉時代



吉原通図(部分) 島文斎栄之筆 江戸時代



芦嶋藻鯉図 (伝)狩野元信筆 室町時代



鍾呂伝道図 (伝)馬麟筆 中国・南宋～元



重要文化財 阿字義(部分) 平安時代



重要文化財 阿字義(部分) 平安時代

名画の殿堂

本展は二〇一九年春に開催した展覧会「国宝の殿堂 藤田美術館展」の続編で、平安時代から近代にいたる各時代、そして日本美術に影響を与え続けた中国まで、同館が所蔵する様々な時代の絵画の名品を一堂にご紹介する特別展です。

大阪の実業家・藤田傳三郎(一八四一～一九一三)の蒐集にはじまる藤田美術館の絵画コレクションには、日本絵画史を歴史的に把握するに十分な作品が擁されています。このたび、藤田美術館と奈良国立博物館が共同で行った収蔵品調査によって、未紹介の重要作品の存在も多数明らかとなりました。本展ではこうした初公開となる隠れた名品を含めた展示によって、藤田コレクションの奥深さ、さらには、コレクションが形づくられた頃の日本美術史の様相までを知ることができるでしょう。

二〇二二年四月に控えた藤田美術館のリニューアルオープンを前に、コレクションの魅力を一層深く味わっていただく特別な機会となります。



藤田傳三郎坐像(部分)
明治～大正時代



幽霊・鶴・仔犬白蔵主図 (伝)長澤蘆雪筆 江戸時代

料金

一般	1,200円
高校生・大学生	1,000円

※前売券はありません。 ※団体料金はありません。
※奈良国立博物館キャンペーンパスメンバーズ会員(学生)の方は、400円となります。
※障害者手帳またはマイIDをお持ちの方(介護者1名を含む)、奈良プレミアムカード会員の方(1回および2回目)、中学生以下は無料です。
※この料金で名品展(なら仏像館・青銅器館)もご覧いただけます。



※すべて大阪・藤田美術館蔵

公開講座

「藤田家伝来の唐絵—中国絵画と中世日本水墨画」
令和3年12月11日(土)

午後1時30分～3時(午後1時開場)

講師：板倉 聖哲氏(東京大学東洋文化研究所教授)

会場：奈良国立博物館 講堂

定員：90名(事前申込先着順)

申込方法：当館ホームページ「講座・催し物」→「公開講座」申込フォームより必要事項をご入力の上、お申し込みください(WEB申込のみとなります)。

受付期間：11月15日(月)午前10時～12月10日(金)午後5時

※聴講無料(展覧会観覧券等の提示は不要です)。
※聴講には事前申込が必要です(当日申込での参加はできません)。
※入場の際には、受付完了メール画面をご提示ください。
※応募は各回お1人様1回でお願いいたします。
※定員に達し次第締め切りとさせていただきます。



交通案内
近鉄奈良駅下車徒歩約15分、またはJR奈良駅・近鉄奈良駅から市内循環バス(外回り)「氷室神社・国立博物館」下車すぐ

奈良国立博物館
NARA NATIONAL MUSEUM
〒630-8213 奈良市登大路町50 <https://www.narahaku.go.jp/>
問い合わせ: 050-5542-8600(ハローダイヤル)